

平成21年度 分野チェックリスト

分野名	健康・福祉分野		分野番号	3
分野担当部	保健福祉部	関連部	区民生活部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			18年度	19年度	20年度	22	年度末
1	国民健康保険加入者1人あたり医療給付費 (地域差指数 = 全国平均1)	全国平均 = 1	0.924	0.836	-	減少させる	
2	公共施設バリアフリー度	%	47.1	48.3	51.2	70	
3	特別養護老人ホーム入所者平均待機期間	月	9か月	9か月	11か月	12か月	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	%	78.6	79.1	78.5	83	
5	保育園待機児童数	人	13	86	137	0	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

1. 全国平均を1として保険者ごとに医療給付費がどの程度かかっているかを表す「地域差指数」でみると、杉並区は平成19年度、23区で最も低くなっている。また、平成18年度以前についても低い水準を保っていた。今後も増加する医療給付費の適正化を図るため、後発ジェネリックの普及をはかりつつ、特定健診・保健指導を効果的に実施し、中長期的に医療費の伸びを抑制する。

2. 施設が複数新設され3項目全て整備された施設が増えたことにより、指標値は僅かながら高くなった。施設の種類によって整備の優先項目が異なることや区立施設の民間委託が進むことにより、目標値を一律に設定するのは難しい。

3. 特別養護老人ホームの入所平均待機期間は、これまで、計画的な施設整備や優先度の高い人から入所できる仕組みにより、減少傾向にあった。しかし、平成20年度の平均待機期間は、11か月、待機者数は、平成20年度末で1,804人(優先度Aランクは907人)となっており、若干増加傾向にある。

今後も高齢化の進展に伴い、入所待機者数は、平成25年度に約2,300人(Aランク1,084人)、平成30年度には約3,000人(Aランク1,441人)に増加することが見込まれ、今後、一層の施設整備が求められる。

4. 高齢者でいきがいを感じている人の割合は、区民意向調査では年度による差はほとんどない。ただし、16年度に行った杉並区高齢者実態調査では、いきがいを感じている人の割合は78.9%、19年度では、72.9%と減少しているが、健康で趣味、スポーツ、仕事に活動的な人ほど、いきがいを感じる高齢者が多い。いきがいを感じる高齢者を増やしていくには、健康、就労、社会参加などいろいろな対策を講じる必要がある。

5. 21年度に向けて、保育園改築により認可保育所の入所定員を30名拡大したほか(5,139人→5,169人)、既存園の受入れ増(57人)、認証保育所(304人→449人)などを計画したが、21年4月の入園申込者数が大幅に増加したこと(1,386人→1,797人、411人増)、これらの対策に加え、緊急対策として区の空きスペース等を活用した区独自の保育室の緊急整備の準備を行った。21年4月の待機児童数は51人増(86人→137人)となったが、区では保育室の追加整備などの対策を21年度中に実施し、待機児を解消させることとしている。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	国民健康保険一人当たり医療費	平成19年度実績では、杉並区の地域差指数は0.836と平成18年度実績の0.924からさらに向上した。他の自治体と比較しても、23区で最も低い数値を示している。10万人を超える被保険者数を有する多摩地区と比較すると、被保険者数が約19万人の八王子市の地域差指数は0.975、同じく約14万人の町田市は0.964である。
	国民健康保険一人あたり医療給付費 (地域差指数 = 全国平均を1とする) (計算式) = 実績給付費(一般被保険者の給付費 + 老人保健医療費拠出金) / 基準給付費(全国平均一人あたり医療給付費から得た給付費 + 基準老人保健医療費拠出金)	
2	公共施設のバリアフリー度	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。 区立施設は、不特定多数が利用する施設(体育館、ゆうゆう館、児童館、集会施設等)のみを対象とした。 スロープ:82.6%、自動ドア:61.0%、障害者トイレ:66.9%。その他の事項の整備状況は「いってきまっぴがホームページ」で公開・更新している。
	公共施設(区立施設)において、スロープ・自動ドア・障害者用トイレの全てを備えている建物	
3	特別養護老人ホームの入所者平均待機期間	他県で平均待機期間を公表している自治体は少しあるが、各自治体により、施設数、待機者数が様々であるため比較は困難である。
	特別養護老人ホームに入所した人のうち、申し込みから入所までに要した待機期間の平均月数。ただし、14年度までは、原則として、申込み順となっている。	
4	高齢者で生きがいを感じている人の割合	平成15年内閣府の『高齢者の地域社会への参加に関する意識調査』によれば、いきがいを感じる割合は、85.1%、江戸川区の『19年度熟年者の健康といきがいに関する調査』では、66.0%がいきがいを感じている。ただし、各自治体の区民意向・世論調査では、同様の調査内容は少なく、比較が難しい。
	65歳以上のうち「あなたは、いま生きがいを感じていますか」に「はい」と回答した人の割合	
5	保育園待機児童数	東京都23区の待機児童数 3,016人(平成20年4月1日) 4,613人(平成21年4月1日)
	翌年度4月1日の待機児童数	
特記事項		